



目次

- | | | | |
|--------------------------|---|---------------------------|---|
| • 必要な工具 | 1 | • ベース・ブロックの取り付け／取り外し..... | 5 |
| • コンポーネントおよびハードウェア | 2 | • フランジの交換..... | 5 |
| • ポートおよび取り付け部の寸法..... | 3 | • キャップの交換..... | 6 |
| • 一般用 SSV アセンブリー..... | 4 | • O リングの交換..... | 6 |
| • MPC 用アセンブリーの取り付け..... | 5 | | |

必要な工具

六角ドライバー付きトルク・レンチ（トルク値:0 ～ 5.1 N・m）

- 7/64 インチ・サイズ
- 9/64 インチ・サイズ
- 5/32 インチ・サイズ



O リング・ピック（または同様の工具）



コンポーネントおよびハードウェア

ベース・ブロック

- 標準
- 出口
- MPC 標準
- MPC 出口



フランジ



ARV 用ベース・ブロック



キャップ

- 1 袋 10 個入り
(色は注文時に選択)



エンド・ベース・ブロック

- 右
- 左



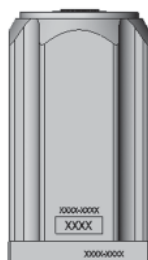
ネジ

- 標準
- MPC 取り付け用
- フランジ
- インサート



モジュール

- DBB
- ARV

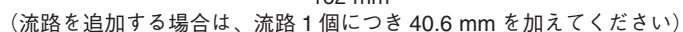
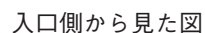


O リング

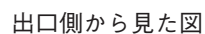
- 9-004 (3 個)
- 9-007 (8 個)
- 9-022 (1 個)



寸法は参考情報として記載しており、予告なく変更される場合があります。



平面图



一般用 SSV アセンブリー

1. ベース・ブロック (左端) をバイスにセットします。
注意: ARV 用ベース・ブロックを使用するアセンブリーは、ベース・ブロック (左端) の代わりに ARV 用ブロックをセットします。
2. ベース・ブロックをベース・ブロック (左端) にセットします。その際、**Oリング** (9-007) とスルー・ポートの位置を合わせます。ベース・ブロック (左端) インサートをベース・ブロックのカウンターボアにはめ込みます。(図 1 参照)
3. 9/64 インチ・サイズの六角トルク・レンチを使用し、ベース・ブロック・インサートねじ (2 個) を、ベース・ブロック・インサートに通して、ベース・ブロック (左端) インサート (2 個) に $4.0 \sim 5.1 \text{ N} \cdot \text{m}$ のトルク値で締め付けます。(図 2 参照)
4. 手順 2 および 3 を繰り返して、残りのベース・ブロック・アセンブリーを組み立てます。その際、ベース・ブロック・インサートねじを隣接するベース・ブロック・インサートに差し込んで締め付けます。ベース・ブロック (出口ポート) をベース・ブロック・アセンブリー内の目的の位置にセットします。



注意

標準と MPC 用ベース・ブロックを混用しないでください。

注意: ベース・ブロック (出口ポート) は、最も安定した流量を得るため、アセンブリーの中心付近に取り付けることをお勧めします。

5. ベース・ブロック (右端) をアセンブリーに取り付けます。その際、ベース・ブロック (右端) の **Oリング** (9-007) と最後に取り付けたベース・ブロックのスルー・ポートの位置を合わせます。9/64 インチ・サイズの六角トルク・レンチを使用し、ベース・ブロック・インサート (右端) ねじを、エンド・ベース・ブロックに通して、ベース・ブロック・インサートに $4.0 \sim 5.1 \text{ N} \cdot \text{m}$ のトルク値で締め付けます。(図 3 参照)
6. **DBB モジュール** を各ベース・ブロック上に取り付けます。取り付けの際は、**アライメント・ピン** を DBB モジュールのアライメント・ホールに差し込みます。**取り付け用ネジ** (2 個) (#10-32 $\times$ 1/2 インチ・サイズ、標準の 5/32 インチ・サイズ六角ヘッド) を使用して、DBB モジュールをベース・ブロックに $2.8 \sim 4.0 \text{ N} \cdot \text{m}$ のトルク値で締め付けます。(図 4 参照)
注意: ARV アセンブリーは、ARV モジュールだけを ARV 用ベース・ブロックに取り付けます。

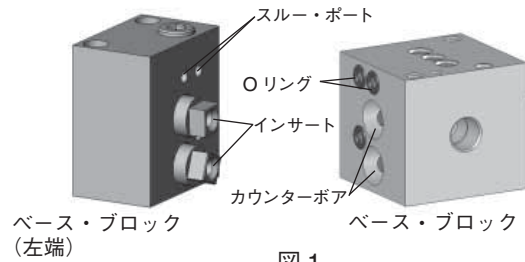


図 1

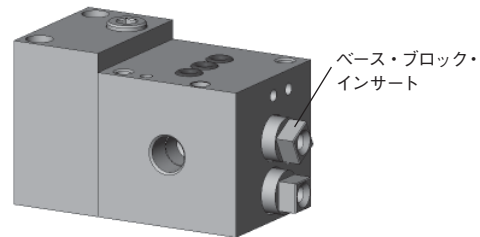


図 2

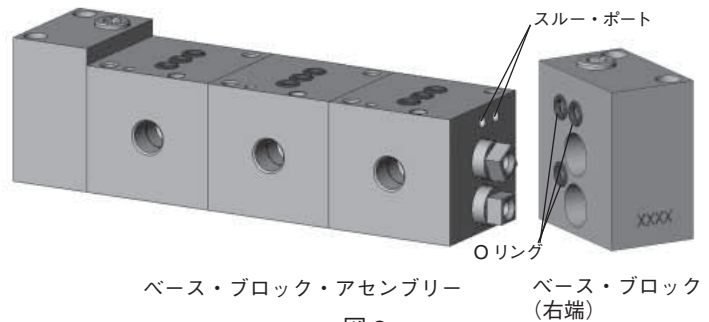


図 3

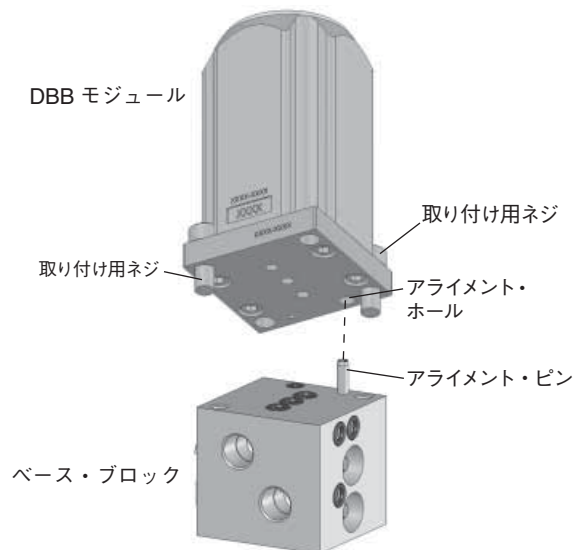


図 4

MPC 用アセンブリーの取り付け

MPC 用アセンブリーは、**MPC 取り付け用ネジ**（#10-32 × 2.0 インチ・サイズ、標準の 5/32 インチ・サイズ六角ヘッド）を使用して、**SSV アセンブリー**全体をパネルに取り付けます。取り付けの際には、SSV アセンブリーの**流体ポート用穴**とパネルの**O リング**位置を合わせます。ネジを締め付ける際のトルク値は、2.8 ～ 4.0 N・m です。（図 5 参照）

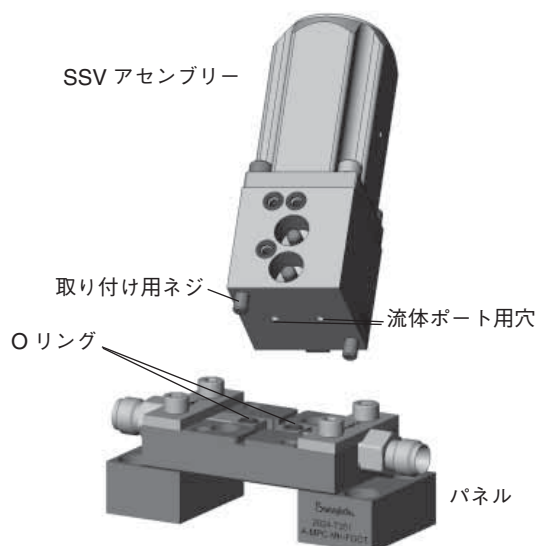


図 5

ベース・ブロックの取り付け／取り外し

1. インサート・ネジをベース・ブロック（右端）から取り外します。9/64 インチ・サイズの六角トルク・レンチを使用して、希望する数のベース・ブロックを取り付け（「一般用 SSV アセンブリー」の項の手順 4 を参照）または取り外します。
2. 「一般用 SSV アセンブリー」の項の手順 5 を参照し、ベース・ブロック（右端）を交換します。
3. 「一般用 SSV アセンブリー」の項の手順 6 を参照し、必要な DBB モジュールを取り付けます。

フランジの交換

1. 5/32 インチ・サイズの六角トルク・レンチを使用して、**取り付け用ネジ**を緩め、**DBB モジュール**をベース・ブロックから取り外します。
2. 7/64 インチ・サイズの六角トルク・レンチを使用して、**フランジ・ネジ**を緩め、**フランジ**を **DBB モジュール**から取り外します。
3. 未使用のフランジと DBB モジュール底部それぞれに付いている**エア・アクチュエーター用穴**と**アライメント・ピン用穴**の位置を合わせます。（図 6 参照）



注意

再組み立て後に DBB モジュールが正常に機能するように、フランジおよびバルブそれぞれの**エア・アクチュエーター用穴**、**アライメント・ピン用穴**を正しい位置に取り付けてください。

4. **フランジ・ネジ**を交換し、1.1 ～ 1.7 N・m のトルク値で締め付けます。
5. 「一般用 SSV アセンブリー」の項の手順 6 を参照し、**DBB モジュール**をベース・ブロックに固定します。



警告

システムに取り付けたバルブのメンテナンスを行う場合には、必ず事前に以下の作業を行ってください。

- システム圧力の開放（システムの圧抜き）
- バルブの開閉
- バルブのパージ

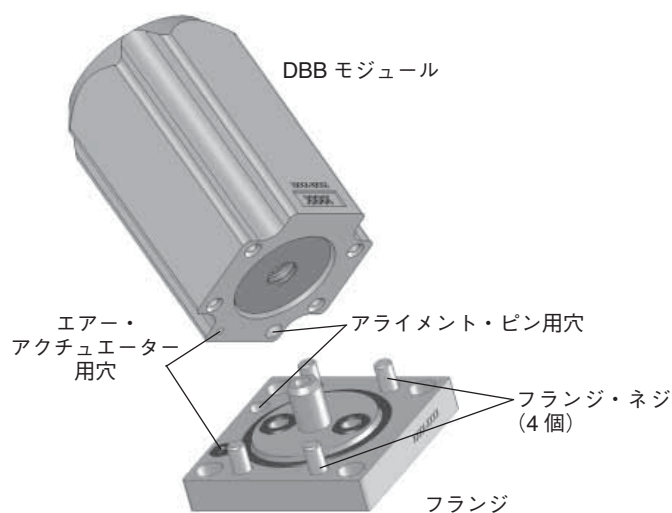


図 6

キャップの交換

1. Oリング・ピックまたは同様の工具を使用して、キャップを取り外します。
2. 未使用のキャップを溝にはめ込むと、タブがピストンの切り込み部に押し込まれます。(図7参照)

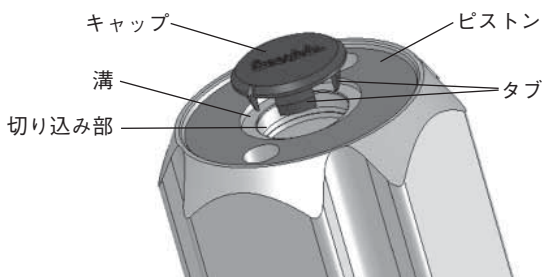


図7

Oリングの交換

1. ベース・ブロック・シールまたはベース・ブロック・シール（右端）（9-007）を交換する際は、「ベース・ブロックの取り付け／取り外し」の項に従って、ブロックを取り外します。(図8参照)
2. DBB モジュール面シール（9-007）を交換する際は、「フランジの交換」の項の手順1に従って、モジュールをベース・ブロックから取り外します。(図8参照)
3. DBB モジュール・ボディ・シール（9-022）またはアクチュエーター・エア・シール（9-004）を交換する際は、「フランジの交換」の項の手順1および2に従って、モジュールおよびフランジを取り外します。(図9参照)
4. Oリング・ピックまたは同様の工具を使用して、Oリングをカウンターボアから取り外します。

△ 注意

取り外しの際、工具でカウンターボアの表面に傷をつけないようご注意ください。傷がついた場合、システムの性能に影響が出るおそれがあります。

5. DBB モジュール・ボディ・シール（9-022）の場合のみ、未使用のOリングに付属の潤滑剤を塗付します。
6. 未使用のOリングを該当するカウンターボアに押し込みます。
7. 「ベース・ブロックの取り付け／取り外し」の項に従って、SSV アセンブリーを元通りに組み立てます。

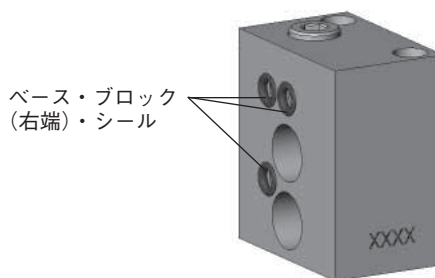
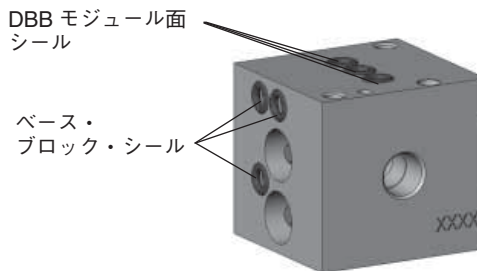


図8

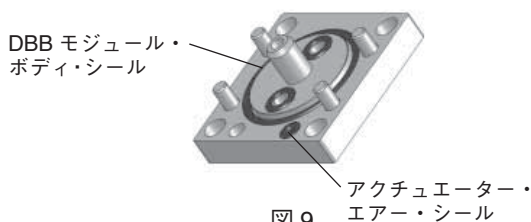


図9

テスト

システムに取り付ける前に、外部リーク・テストを行い、正しく動作するか確認してください。

安全な製品の選定について

安全にトラブルなく機能するよう、システム全体の設計を考慮して、製品をご選定ください。機能、材質の適合性、数値データなどを考慮し製品を選定すること、また、適切な取り付け、操作およびメンテナンスを行うのは、システム設計者およびユーザーの責任ですので、十分にご注意ください。

ご注意：他社部品との混用や互換は絶対に行わないでください。

この日本語版製品取り扱い説明書は、英語版製品取り扱い説明書の内容を忠実に反映することを目的に、製作いたしました。日本語版の内容に英語版との相違が生じないように、細心の注意を払っておりますが、万が一相違が生じた場合には、英語版の内容が優先されますので、ご注意ください。

Swagelok — TM Swagelok Company
© 2005 Swagelok Company